

二〇二二年

国語 A入試 試験問題

監督の先生の「始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

注 意

- (1) 「始め」という指示で、すぐに受験番号を解答用紙と問題用紙の決められたところに書きなさい。  
名前を書くところはありません。
- (2) 問題は(1)ページから(4)ページまであります。
- (3) 試験時間は四十五分間です。
- (4) 答えはすべて解答用紙の決められたところにていねいに書きなさい。
- (5) 印刷の文字がはっきりしないときは、手をあげて聞いてもよろしい。
- (6) 「やめ」という指示で、書くことをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして、机の上に置きなさい。

受験番号

番

名古屋商科大学  
名古屋国際中学校

国  
A③

※ 2021012301



# 国語

一 次の二つの文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

文章1

あるところに、一人の美しい若者がおりました。彼は商売のために航海①に出ましたが、大嵐に巻き込まれてしまいます。何日か流された後に、大羅刹国②という大きな町にたどり着きました。

その土地の人はみな変わった見た目をしており、美しい若者を怖がりしました。しかし、次第に打ち解ける②ことができて、彼はそこで仕事も得ます。若者は才能を発揮して、竜王の娘と結婚③しました。ところが、やはり故郷が忘れられず、大羅刹国を後にすることにします。妻は悲しみに暮れながら、子供が生まれたら人間界へ送ろうと約束をして、別れのしるしに若者にたくさんの餞別④を贈ります。自分の故郷に帰ってみると、父母は変わらず元気に暮らしておりました。

三年後、約束通り竜王の娘は子供を若者に引き渡⑤します。若者は彼女からの手紙に涙ぐみ、子供も母親を恋⑥しますが、竜王の娘は二度姿を見せただけで、すぐに消えてしまったのでした。

(参考『聊斎志異』『羅刹の海市』)

文章2

あるところに、漁師⑦をしている兄と、猟師⑧をしている弟がおりました。二人はあるとき互いの仕事を交換⑨しましたが、二人ともうまく獲物⑩がとれませんでした。やはり元の仕事に戻ろうと言うことになりましたが、弟が兄の仕事道具である釣り針をなくしてしまい、兄を怒らせてしまいました。弟は海辺で会った老人に手助けしてもらい、小舟で海神の宮殿へ行くことになりました。

宮殿に着いた弟は、自分のするべきことを忘れて海神の娘と結婚をします。三年後、兄の釣り針を探しに来たことを思い出した弟は、海神に相談し、赤鯛の中から釣り針を取り戻しました。(中略)

(参考『古事記』『海幸彦と山幸彦』)

(一) 線部①「航海」の同音異義語を一つ、漢字で答えなさい。

(二) 線部②「打ち解ける」の本文中での意味として、正しいものをつ選び、記号で答えなさい。

ア 争い合うこと。

イ 親しくなること。

ウ 競い合うこと。

エ 氷が溶けること。

(三) 次の表は文章1と文章2のストーリーを整理したものである。

(一) にあてはまる言葉をそれぞれ考えて答えなさい。

文章1	文章2
美しい若者がいた。	ある猟師がいた。
( a ) の向こう側にある ( b ) へ行った。	
そこで権力者の娘と ( c ) をした。	

※ 権力者…その土地を治めたり、その土地で力を持っていたりする人。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

① 巴里の北の駐車場でおまえと訣れてから、もう六年目になる。人は久しい歲月という。A、私には永いのだか短いのだかわからない。あまりに日夜思い続ける私とおまえの間にはもはや直通の心の橋ができていて、歲月も距離もほとんど影響しないように感ぜられる。私たち二人は望みの時、その橋の上で出会うことが出来る。私はいつでも稚純な母。「だらしがないな、羽織の襟が曲つてるよ、お母さん」、「生意気いうよ、こどもの癖に」、二人は微笑してながめあう。永劫の時間と空間は、その橋の下の風のようにかすかに音を立てて吹き過ぎる。

② 二人の想いは宗教の神秘性にまでたかめられている。おそらく生を更え死を更えてもかわるまい。A、ふとしたことから、私は現実のおまえに気づかされることがある。すると無暗に現実のおまえに会いたくなる。巴里が東京でないのが腹立たしくなる。

それはどういふときだというとき、おまえに肖た青年の後ろ姿を見たとき、おまえの家へ残して行った稽古用品や着古した着物が取り出されるとき。それから、思いがけなく、まるで違ったものからでもおまえを連想させられる。ほんのくぼのちぢれつ毛や、の太い率直な声音、——これらも打撃だ。こういうとき、私は強い衝動に駆られて、もし許さるるなら私は大声を挙げて「タロー！ タロー！」と野でも山でも叫びまわりたい気がする。それができないばかりに私は涙ぐんでうずくまりながらお前の歌を詠む。おまえがときどき「あんまり断片的な感想で、さっぱりわかりませぬね。もっと冷静に書いてよこして下さい」と苦り切った手紙をよこさねばならないほどの感情にあふれた走り書きを私が郵送するのも多くそういうときである。A、おまえが何といおうとも、私はこれからもおまえ

に ああいう手紙を書き送る。なぜならば、それを止めることは私にとって生理的にも悪い。

…(中略)…

私は、巴里から帰って来ておまえのことを話してくれる人ごとに必ず訊く、「タローは、少しは大きくなりましたか」

すると、みんな答えてくれる。

⑧ どうして、立派な一人前の方です

ほんとうにそうか、ほんとうにそうなのか。

私が訊いたのは何も背丈のことばかりではない。西洋人に伍して角逐できる体力や気魄について探りを入れたのである。

「むすこは巴里の花形画家で、おやじや野良のへぼ絵描き……」

こんな鼻唄をうたいながら、お父様はこの頃、何を思ったかおまえの美術学校時代の壊れた絵の具箱を肩に担いでときどき晴れた野原へ写生に出かける。黙ってはいられるが、おまえの懐かしさにこらえられないからであらう。

(岡本かの子『巴里のむす子へ』)

※1 稚純：純粹で子どもっぽい

※2 永劫：限りなく長い年月

※3 生を更え死を更えても：生まれ変わっても

※4 ほんのくぼ：首のうしろのくぼんだところ

※5 伍して角逐できる：ならんで競うことができる

(一) A には、すべて同じことばが入る。正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

A そして    イ また    ウ だが    エ その上

(二) ——線部①「巴里」は「パリ」と読むが、これはどこの国の首都か。正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

A フランス    イ 中国    ウ 韓国    エ アメリカ

(三) — 線部②「直通の心の橋」に使われている表現技法を三字以内のひらがなで答えなさい。

(四) — 線部③「二人」とはだれとだれのことか。この手紙を書いている人物、この手紙を受け取る人物の順番で、本文中よりそれぞれ四字以内で抜き出しなさい。(ただし、「私」「おまえ」という言葉は使わないこと)

(五) — 線部④「ふとしたこと」とは、どのような場面か。あてはまるなものをも一つ選び、記号で答えなさい。

ア 見知らぬ青年の後ろ姿が、息子に似ていたとき。

イ 息子が昔に使っていた物が出てきたとき。

ウ 息子が作った歌を詠んでいるとき。

エ 他人の野太い率直な声を聞いたとき。

(六) — 線部⑤「打撃」について、次の会話文はここでの「打撃」という言葉の意味を生徒たちが考えている場面である。( ) にあてはまる言葉を答えなさい。ただし、答えるときは「何(だれ)を」や「何(だれ)に」を明らかにしなさい。

生徒ア「誰かに攻撃されているわけでもないのに、なんで打撃なんだろう」

生徒イ「打撃は痛いものだけど、きっとこれは心の痛さだね。この人は

( ) a ( ) ということ言いたいのではないかな。」

生徒ア「つまり、思い出したくないということ？」

生徒イ「うーん。そうではなくて、それくらい ( ) b ( ) とい

う、愛情を示しているんだと思うよ。」

生徒ア「なるほど、留学している子供を想う親の気持ちだね。」

(七) — 線部⑥「おまえが何といおうとも、私はこれからおまえにああいう手紙を書き送る」のはなぜか。本文中の言葉を使って、解答らんに合うように、二十五字以内で答えなさい。

(八) — 線部⑦「大きくなりましたか」とあるが、「私」は何を聞いているのか。次の説明文の( ) にあてはまる言葉を、それぞれ指定された字数で本文中から抜き出して答えなさい。

・息子に、西洋人に負けない(a・二字)や(b・二字)があるかどうかを聞いている。

(九) — 線部⑧「どうして」の後に省略されていると考えられるものは何か。正しいものをも一つ選び、記号で答えなさい。

ア そんなことを聞くのですか。

イ 会いに行かないのですか。

ウ 寂しくないのですか。

エ 自分で確かめないのですか。

(十) — 線部⑨「花形」とはどのような意味か。正しいものをも一つ選び、記号で答えなさい。

ア 花を売っていること。

イ 花の形をしていること。

ウ 花の絵ばかり描いていること。

エ 人気があること。

(十一) — 線部⑩「壊れた絵の具箱」を父が使っているのはなぜか。解答らんに合うように、簡潔に答えなさい。

三 語句について、次の問いに答えなさい。

(一) 次の四字熟語について、□には同じ漢数字が入る。□に入るものを答えなさい。

① □言□句

② □□九度

③ □人□色

(二) 次の——線部の敬語について、間違っているものは正しい敬語に書き直し、正しいものは敬語の種類を答えなさい。なお、漢字がわからない場合はひらがなで答えてもよい。

① 「こちらもご覧になりますか。」(店員がお客に向かって)

② 「先生がいらっっしゃられました。」(子供が担任の先生が家に来たことを告げる)

③ 「その話は母より伺っております。」(子供が担任の先生との会話で)

(これで問題は終わりです。)